

あなたの入会を心から呼びかけます

# 日本科学者会議 入会案内

The Japan Scientists' Association (JSA) Enrollment Guidance (2022)



## ともに、人類の発展に寄与する 豊かな研究成果を!

代表幹事 大竹 美登利

東京学芸大学 名誉教授

私は、大都市雇用労働者夫妻の生活時間の平等性に関する研究を、家政学(生活科学)の視点から進めてきました。家政学とは生活の諸課題を、自然・社会・人文の諸科学を基盤として研究し、より良い生活の実現をめざす実践的総合科学です。生活に起こる多様な課題は、自然・社会・人文と統合して追究することが重要であるとされています。

JSAとは人文、社会、自然科学を総合した視点で研究を追求し、科学・技術の発展に伴う諸課題に向きあい、解決していく学術団体であり、私のこれまで関わってきた学問と類似し、親近感を持っています。

JSAは科学の成果を社会の諸課題の解決に生かし、人類の進歩に役立つ、国内国外の平和・独立・民主主義・社会進歩・生活向上の諸活動にとりくむ実践を重視しています。現在の大学や研究機関は、熾烈な業績競争に陥り、研究者は目の前の業績作りを目を奪われ、その研究が人類の進歩に役立つものであるか、平和・独立・民主主義・社会進歩・生活向上に生かされるものかという目

的を見失いがちです。JSAの理念は私たちの研究の目的を考える機会を常に与えてくれます。

またJSAは「研究者、教育者、技術者、医師、弁護士、大学院生など」幅広い人々を会員としています。広く一般の生活者の問題を対象としてきた私は、様々な場で活躍する実践家などの意見にも広く注意を払ってきましたが、それは研究の方向性を見極める上でも重要なことと考えています。JSAではこうした多様な会員の研究交流から、現実社会に結びついた多面的で視野の広い諸課題をとらえ追究できているからこそ、平和・独立・民主主義・社会進歩・生活向上にむけた広い視点から社会課題をとらえることができているのだと思います。

皆様も、JSAでの研究交流を通して、人類の発展に寄与する豊かな研究成果をつくっていきましょう。皆様の入会を心からお待ちしています。



## 夢と希望を生み出す 科学をともに

代表幹事 立石 雅昭

新潟大学 名誉教授

### 衰退する日本の科学技術

科学技術立国と言われて久しい。1995年、科学技術基本法が制定され、以降、同法に基づいて6次にわたる科学技術基本計画が策定されてきた。昨年発足した岸田文雄政権も成長戦略の第一の柱に科学技術の推進を掲げた。そして、その発展の方策として『選択と集中』をうたい、その目玉政策として大学ファンドの創設を掲げた。

しかし、科学技術立国の名の下にこの20数年間推し進められた、「評価」に基づく過度な『選択と集中』は、さまざまな指標に示されるように、結果的に日本の科学技術の衰退をもたらしている。とりわけ、若い世代の研究環境・条件が急激に悪化している。その最たる物が、2023年3月の任期付き若手研究者3000人の雇い止めである。過度の競争と業績主義は基礎的科学の衰退に拍車をかけるであろう。

## 人類が直面する課題

他方で、戦争と平和、核と原発、地球環境、飢餓と水・食糧問題など、人類は多岐にわたる課題に直面している。これらの課題は人類がその生存をかけて急いで解決しなければならない。その鍵は、国や政治体制、業種や分野を超えて、知恵と力を集めた人類の共同にあり、その柱は科学技術の深化・発展である。

個別分野の科学技術は紛れもなく発展してきた。要は、分野を超えた広い視野から課題解決の道とともに探ることであろう。

## 日本科学者会議の役割

個別科学分野の学会・協会とは異なる総合的観点から人文・社会・自然科学のすべての分野の科学者（研究者・教育者・技術

者・弁護士・医師・大学院生など）が参加しており、諸問題に取り組んでいるのが科学者会議です。

科学者会議はその会則で活動の目的として(1)日本の科学の自主的・民主的発展につとめ、その普及をはかり、(2)科学者の生活と権利をまもり、研究条件の向上と研究の組織・体制の民主化につとめ、学問研究と思想の自由をまもることなどをうたっています。

人類に夢と希望を生み出し、課題解決のためにともに科学する日本科学者会議にお加わりください。



## 課題と希望

代表幹事 山本 富士夫  
福井大学名誉教授

日本科学者会議の会則(1965年12月制定)の前文では「…科学を人類に役立て正しく発展させていくことは、わたしたち科学に携わる者の共通の任務です。わたしたちは、日本の科学の進歩と平和・独立・民主主義・人びとの生活向上のために努力してきた科学者の伝統をうけつぎ、科学の発展を妨害するものとたたかい……(以下省略)」と書かれています。

先の世界大戦の戦争指導者たちは、嘘・隠蔽・捏造を繰り返しながら、神がかりな感情的公論を煽り神話的に国民を戦争へと導き、アジア諸国民と日本国民に多数の犠牲者を出し地球環境を破壊しましたが、戦争責任を取ろうとしませんでした。現在の政治指導者たちも、かつての日本帝国主義による戦争犯罪を反省することなく、歴史事実を学ぼうとしていません。それどころか、軍事同盟である日米安全保障条約を最優先にし、防衛戦争だけでなく先制攻撃をもできるように憲法を改悪しようと突進しています。

日本国憲法は、先の世界大戦で犯した間違いを反省し「非戦」を謳っていますが、今、壊される危機的状況にあります。

私たちは、神話的世論で国民を愚弄する独裁的権力者とたたかいつつ、真善美に基づく科学的世論をつくり、平和・自由・民主主義の憲法を遵守する政権を支援します。また、核兵器廃絶と脱原発、非同盟、非武装・非暴力、貧困解消、地球環境の保全、エネルギーと食糧の需給などの課題解決に取り組み、戦争を目的とする研究に加担することなく、民生用の科学・技術に基づく経済産業社会の構築を目指します。

国際学会で活躍する各論的専門科学者とその支援者たちが、団結して総論的視座で自由に発言し行動していけば、いつかは日本国憲法を規範とする理想的な社会を実現できるという希望を、私は持ち続けています。

## 日本科学者会議について

日本科学者会議(JSA)は総合学術団体です。人文科学・社会科学・自然科学の研究者だけでなく、技術者、医師、教育者、市民も会員として参加しています。

### Q 会員になると？

- ・専門分野を超えて交流したり研究会を組織することにより、広がりのある研究を進めることができます。
- ・機関誌『日本の科学者』が毎月お手元に届きます。購読料は会費に含まれるのでお得です。
- ・院生会員は院生向けの交流会・勉強会に参加できます。
- ・大学院生には、割引された院生会費が適用されます。

### Q 会員になれるのはどんな人？

会則をみとめ所定の会費をおさめる科学に携わる者を会員とします。\* (会則第5条)  
科学を専門としなくても、科学の発展や科学の社会的役割に関心を持つ皆さんの入会を歓迎します。  
※研究者、教育者、技術者、医師、弁護士、大学院生など

